



# なごや「聖歌」だより 2月号'11

## ギリシアの聖歌、前へ前へといざなうリズム

テサロニキのアヒロピートス(手にて書かれざるイコン)教会で主日聖体礼儀に参拝した。ビザンティン聖歌はすべて単音(単旋律)でイゾンと呼ばれる通奏低音を伴う。イコンスタスの左あるいは右側のクリロス(聖歌隊席)で赤襟のリヤサ姿の聖歌者数人が歌う(写真1)。聖堂のトロパリなどは会衆も一緒に歌っていた。

ギリシアの礼拝にはコンスタンティノープルの大聖堂の伝統が数多く残っている。たとえば「聖入」、イコンスタスの北門を出た行列は聖堂の入り口まで歩き、そこからUターンして王門へ向かう。かつて聖書や献げもののパンとブドウ酒を別室から運んできた様子を彷彿とさせる(写真2)。「福音の読み」は階段状に高くなったアンボン(説教壇)で行われていた(写真3)。主日のアンティフォンもビザンティンの大聖堂の伝統に則って「救世主や、生神女の祈祷によって・・・」というリフレインを伴って歌われていた。

ビザンティン聖歌は優雅なロシア近代聖歌に比べると無骨に感じるが、前へ前へ進む力強いリズム感がある。

アテネではプラカ(旧市街)のデミトリオス教会の晩禱に行った。路地に面した看板がなければ見落としてしまいそうな小さな教会。夕刻、明かりを落とした聖堂では九時課が始まり、晩課、一時課、晩堂課と続く。仕事帰りの若者が一人二人と入ってくる。ギリシアでは珍しく女性も聖歌を歌っていた。神父さんも時々エピタラヒリをはずして聖歌に加わりサポートする。騒々しい観光地プラカのなかで、そこだけが別世界であった。

案内ボードを見ると毎夕晩禱に加え、毎朝7時から聖体礼儀が行われていた。司祭一人の街の教会でも毎日聖体礼儀を祈る、その静かな力を感じた。ここは、かつてデミトリオス田中神父が正教と出会った教会である。



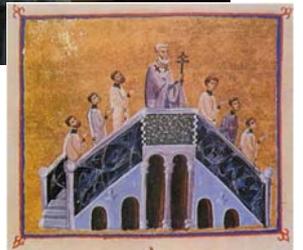
1



2



3



昔のアンボン

テサロニキのアヒロピートス教会。

ギリシアでは主日には徹夜禱を行わず、日曜日の朝、早課から聖体礼儀が引き続いて行われる。これもコンスタンティノープルの伝統

聖歌練習

♪名古屋:2月13日代式後、

また、主日朝、9時15分頃から声出しウォーミングアップ、その日のトロパリポロキメンなどの練習をしています。どなたもご参加できます。

♪半田: 2月9日12:00から(大斎に向けて)

2月の指揮当番 6日マリア松島、20日エレナ広石、27日ピーメン松島

## ズナメニイ研究会

2月23日1:30から。

クリュキー(記号)の復習をしながら、ズナメニイの記譜、音楽付けの特徴を学んでいます。テキストは2002年にリガの旧儀式派教会から出版されたズナメニイの教科書です。

ズナメニイでは「ことば」がより浮き立って聞こえます。ロシアでも近年各所でズナメニイが注目され、実践されていますが、単なる懐古趣味ではなく、正教聖歌の大原則への道がそこにあるからです。

日本語で歌うズナメニイを紹介しています。

<http://www.orthodox-jp.com/liturgy/Znameny/chant.htm>



現代の日本の状況に合わせて適宜省略、解説を加えています。

## 第2章 正教会の奉神礼のシステム

### ティピコン

正教会の聖歌の形式は奉事規定（礼拝の式順、オルド）と密接に関連しています。式順は彩り豊かな聖歌という「絵」を形作る構図であり、そこから正しい機能が引き出されます。式順はティピコンと呼ばれるきまりに指定されています。世界の正教会はおおむねエルサレムかコンスタンティノーブルかどちらかのティピコンに従っています。ロシア系正教会は基本的にエルサレム・ティピコン（Hagioplitical-Hagiooritical order）に従い、ギリシア系教会はコンスタンティノーブル・ティピコンに従っています。

エルサレム・ティピコンは聖サワ修道院の修道院で作られたもので、ロシアのほかエルサレムやアトスで用いられています。ティピコンには礼拝規則だけでなく、齋や修道生活の規則も含まれています。

今日ロシアで広く用いられているエルサレム・ティピコンは17世紀のニューコンの改革以後に定着したものです。それ以前はロシアが正教を受け入れて以来、コンスタンティノーブルの式順が用いられており、街の大聖堂教会ではアギア・ソフィア大聖堂のきまり(Τῆς μεγάλης ἐκκλησίας)を用い、修道院ではストゥディオス修道院のきまりに従っていました。今でも古い時代の要素が聖大土曜日の早課などにわずかに残っています。

古い大修道院や歴史ある大聖堂では独自のティピコンを保持しているところもあります。聖歌内容や歌い方が異なり古い礼拝の形の面影を残しています。

※ガードナーはロシアでのエルサレムティピコンの導入を15世紀としているが、近年の研究では、ニューコンがベネチアで出版されたティピコンを導入したため広く用いられるようになったとされている。

ティピコンは以下のサイトで参照できます。

『ティピコン略』（英文からの翻訳）

<http://www.orthodox-jp.com/liturgy/Typicon/index.html>

『ブルガーコフ机上本』（英文）

<http://www.transfigcathedral.org/faith/Bulgakov/>

また主日、固定祭日、毎年変化する移動祭日の複雑な暦に対応した実施方法については、ロシア正教会から『奉神礼の手引き』（Богослужebные указания）が毎年出ています。

ティピコンには街の教会でその通りに実施するのは不可能な分量が書かれています。ですから実際には大幅に短縮省略されています。たいていの修道院でもそれぞれの生活形態に合わせて省略しています。

ティピコンそのものには省略のための手引きはありませんが、だいたい次のような方法で短縮されています。(1)祈禱のある部分、特に聖詠誦読、誦経の部分省略する(2)歌全体を省く。何度か繰り返す指定があるところを1回のみにする。(3)短い簡単な曲付けにする。(4)ティピ

コンに歌うように指示されている歌を誦読にする。(5)ある時課を全部省略する。

### 祈禱の一日の周期

正教会の奉神礼上の一日は、日暮れ時の晩課に始まります。従って土曜日の晩課は日曜日に属するために祝祭的な色合いがあります。翌日の晩課直前の九時課で一日が終わります。

礼拝の一日には次の課officeがあります。

- |         |   |
|---------|---|
| 1. 晩課   | Vespers; Ἑσπερινός; Вечерня                                       |
| 2. 晩堂課  | Compline; Ἄποδειπνον; Повечерие, Повечерица                       |
| 3. 夜半課  | Nocturn, Midnight office; Μεσονυκτικόν; Полунощница               |
| 4. 早課   | Matins; Ὄρθρος; Утренняя  |
| 5. 一時課  | 1st hour; Α΄ ὥρα; Первый час                                      |
| 6. 三時課  | 3rd hour; Γ΄ ὥρα; Третий час                                      |
| 7. 六時課  | 6th hour; Σ΄ ὥρα; Шестой час                                      |
| 8. 聖体礼儀 | Divine Liturgy; ἡ θεία κλειτούργια; Божественная литургия, обедня |
| 9. 九時課  | 9th hour; ἠ΄ ὥρα; Девятый час                                     |

晩堂課、夜半課、九時課は修道院では行われませんが、大聖堂や教区教会ではあまり行われません。

修道院によってはこれらを3つにまとめて行うところもあります。(1)9時課、晩課、晩堂課（夕方行う）、(2)夜半課、早課、一時課（夜中、または夜明け前に行う）、(3)3時課、6時課、聖体礼儀（午前中）。

大祭の前晩には（ロシアでは毎土曜日）、晩課、早課、一時課をまとめて、徹夜禱（All-Night Vigil; ἀγρυπνία; всенощное бдениеまたは単に всенощное）として文字どおり夜を徹して行います。大聖堂や教区教会では土曜日や大祭の前晩に大きく省略された形で行われています。日本では1時間半ほどですが、ロシアでは少なくとも2-3時間はかかるようです。革命前のキエフで一字一句ティピコンどおりに徹夜禱を行う実験を行ったことがあります。準備に半年、実施に7時間かかり二度と試みられなかったという話があります。

徹夜禱には通常リティヤ（Λιτῆ; Лития）が含まれ、晩課の後半に挿入されます。リティヤは聖堂の回りをまわって啓蒙所に入る行進の形をとったり、啓蒙所あるいは教会の入り口近くで行われたりします。

特別の期間、祭日や、大齋、受難週、光明週間、あるいは降誕祭や神現祭の前晩などには平日の祈禱の形が変わることがあります。例えば大齋期間中に行われる先備聖体礼儀は、晩課からはっきりした切れ目がないまま始まります。これについては後述します。

## ホームページのご案内

○「なごや聖歌だより」のホームページ

<http://www.orthodox-jp.com/music>

なごや聖歌だよりのホームページの表紙で名古屋教会の聖歌が聞けます。「聖歌だより」のバックナンバーもダウンロードできます。

○ 東方正教会の聖歌 <http://www.orthodox-jp.com/maria>  
詳しく学びたい方のため正教会聖歌の特徴、聖歌の神学、歴史、など海外の資料も多数翻訳して掲載しています。

○ 正教会奉神礼研究 *Liturgia*  
<http://www.orthodox-jp.com/liturgy> 奉神礼や聖歌の実践資料